



谷津田の整備作業 レンジャーズプロジェクト 2013年5月撮影

Association for Nature Restoration and Conservation, Japan

Narec

ナレック ニュースレター 自然環境復元協会 News Letter

発行● 特定非営利活動法人 自然環境復元協会
 住所● 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-3-13-301 電話：03-5272-0254 FAX：03-5272-0278
 ホームページ● <http://www.narec.or.jp/>

理事長就任のご挨拶

理事長 加藤 正之

恵小百合先生が、新年度より内閣府公益認定等委員会委員にご就任のため、自然環境復元協会理事長をご退任になられました。これは、政府委員の他団体役員兼任を禁止する条項によるものです。協会リーダーとして会員の皆様から期待されていたおりのご退任は誠に残念ですが、今後は国政の中核において、先生のますますのご活躍を心からお祈りしたいと存じます。

去る4月20日の理事会におきまして、恵小百合先生の後任として、私が本協会理事長に選出されましたので、お知らせ方々ひと言ご挨拶を申し上げます。

私は、会の前身である自然環境復元研究会に1990年入会以来の会員でございますが、本協会がNPO法人化された後の2003年に理事となり、現在に至っております。自然環境復元活動については、私は小河川や湧水池の自然復元を手はじめに、学校ビオトープづくり、農山村の活性化などに20年あまり取り組んで参りました。なかでも、故杉山恵一先生にご指導いただいた静岡県三島市での10年にわたる川づくり活動は、私自身多くを学ぶ機会となりました。それは、自然と人間の良好な関係づくりの大切さと、自然を基盤とした社会づくりの重要性です。

今後はそうした考え方がより一般化されるとともに、国民各位にも歓迎されるような取組みを旨とし、会員の皆様とともに努力していきたいと考えています。そのため、本協会で行っている環境再生医制度やレンジャーズ・プロジェクトを活用し、効果的な活動に転換していけたら素晴らしいと思います。

むすびに、皆様のご健勝を祈念しますとともに、本会への皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

2012年度も350名の環境再生医が誕生しました。



皆さまのお蔭をもちまして、2012年度は全国で約350人の環境再生医が誕生いたしました。今年は、やはり東日本大震災復興支援に関する活動をされている方も多くなり、講習会場ではお互いの活動への意見交換など、日ごろのご活躍が伝わる熱い一面もありました。また、新しい仲間を見つけた方や、中には「考え方が変わった!」と感動して帰られる方もあり、事務局や講師ともども受講者の皆さんから元気ももらう機会となっています。この環境再生医制度の運営には、皆さまの貴重なご寄付や会員費も使わせていただいております。この場をかりまして心より御礼申し上げます。

＜2012年度 環境再生医取得者数＞	上級…	8人
	中級…	29人
	初級…	310人

宮城県 登米市

豊かな自然に目を向ける
ビオトープ作りがはじまりました。

登米市内にある『手のひらに太陽の家』では、被災した子ども達が敷地内で遊べるよう、手のひらに太陽の家のスタッフ、利用者の皆さん、地域の方々と協力して、ビオトープ(トンボ池)を作っています。ワークショップから工事までを島村雅英さん(自然環境復元協会 会員)が担当されています。今年8月の完成を目標に毎週土曜に作業を行うため、ボランティアさんを引き続き募集し



地域の方々や子どもたちも参加。粘土を池に貼り付ける作業まで終わりました。

ています。詳細は、手のひらに太陽の家までお問い合わせ下さい。

本活動は、株式会社コーセー様の支援により実施しています。

『手のひらに太陽の家』とは・・・

手のひらに太陽の家は東日本大震災で被災した親子を支援するための復興共生住宅です。地元材と自然エネルギーを活用した循環型の住宅として、復興のモデルとなることを目指し、平成24年7月に宮城県登米市に完成しました。

現在、東日本大震災の影響で様々な困難に直面している親子の入居を受け入れて支援を行っています。特に放射線量の高い地域に住む方々の短期から長期の保養滞在を中心に行っています。

手のひらに太陽の家
宮城県登米市登米町寺池辺室山 17 番地 1
TEL:0220-23-9755



NAREC おすすめの書籍をご紹介します。

園の身近な生きものと出会う探検ブック！ 小泉昭男（環境再生医）

推薦コメント

幼い頃に自然の中で楽しく遊んだ経験がある人は、長じてどの分野に進もうとも自然を大切にする行動がとれるといわれている。しかし、日本中どこへ行っても虫取りをする子はおろか、外で遊んでいる子どもを見かけなくなって久しい。人類の歴史始まって以来、子どもはズーッと自然の中で泥んこになって身体と五感を駆使して遊びながら、豊かな感性や好奇

心を育て、知恵もつけてきたというのに。これでは日本の未来が危ないと日頃から思っていた矢先、この本と出会った。凶悪な事件が多くなった今、幼い子どもにとって自然の中に誘導してくれる大人の存在なくして外遊びは出来なくなってきている。特に、こども達を散歩に連れ出すことの多い保育園や幼稚園の先生に本書を薦めたい。

推薦 下重喜代(自然環境復元協会 会員)



著者:小泉 昭男
ISBN:978-4-7803-0600-2 C0037
判型:B5変型判
ページ数:136頁
発行年月日:2013年04月
価格:定価(本体価格1,800円+税)
かもがわ出版のサイトで購入できます

インフォメーション

◎WEBサイトをリニューアルしました。

特定非営利活動法人 サービスグラント様のご協力により、WEBサイト(ホームページ)をリニューアルしました。各種情報をより分かりやすくお客様にお伝えできるよう、各種の情報を細分化し、当協会にご理解を一層深めていただけるように充実を図ります。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◎自然環境復元協会は国税庁の指定寄付先です。

自然環境復元協会の復興支援活動への寄付金が、国税庁の「指定寄附金」となり、税制優遇の対象となります。皆さまのご支援よろしくお祈りします。

◎会員数報告(2013年5月21日現在)

運営(正)会員	167人
協力(普)会員	288人
交流(準)会員	45人
賛助会員	23団体(個人含む)

平成25年度総会のお知らせ

平成25年

6月15日(土)

10時~12時

拓殖大学(東京 茗荷谷)

にて予定しております。